

会 議 録		令和6年2月13日作成	令和9年3月末日廃棄
会議名	京都府西京警察署協議会（令和5年度第4回）		
開催日	令和6年2月6日（火曜日）		
時 間	午後3時から午後4時30分までの間（90分）		
場 所	京都府西京警察署 講堂		
出席者	澤井会長、中川副会長、大石副会長、辻委員、中路委員、高橋委員 樋口委員、石若委員、小原委員、柳田委員、池藤委員、野原委員 （欠席 木場委員） 計12人		
	署長、副署長、警務課長、生活安全課長、地域課長 刑事課長 交通課長 警備課長 会計課長 広聴相談係長 計10人		
諮 問 事 項	特殊詐欺とわいせつ事案の現状について		
会 議 内 容	<p>1 会長挨拶 司会 副署長</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>3 協議 司会 会長</p> <p>諮問事項説明 特殊詐欺とわいせつ事案の現状について～生活安全課長</p> <p>【委員】特殊詐欺については、区役所にも予兆電話、特に還付金詐欺の電話がかかってきたと市民からの情報提供がある。 情報提供してくださる方は、特殊詐欺に対して警戒心が強い、ごく一部の方で、本当はもっと詐欺の電話が多くかかっているのだと危惧している。 特殊詐欺に関する広報をもっと行っていかないといけないと感じている。</p> <p>【委員】私の母親の体験談だが、私の弟をかたった電話が入り、「女性を妊娠させてしまったので金を用意してくれ。」と言われたが、私の母親は「帰って来い。」と一喝して電話を切ったとのことであった。 私の母親は被害に遭うことはなかったが、特殊詐欺の被害の件数は予兆電話の数に比例して増えているのかと感じた。</p>		

会 議
内 容

コロナの影響かと思うが、ある程度被害が減少した年もあるようだが、警察に寄せられる相談も被害が多い年ほど多いものなのか。

説明を聞き、やはり70代くらいの方が被害に遭うことが多いと感じた。

【警察】 予兆電話の数に比例して被害件数も増えると考えてもらえば良い。

全被害者のうち、65歳以上の方が80%以上被害に遭っている。

若い方はパソコン、スマートフォンの等の機能に精通しており、被害に遭いにくいと考えている。

先ほど手口が10種類ほどあると説明させていただいたが、年ごとに主な手口が変わるという傾向がある。

例えば、去年は架空請求詐欺が主流だったが、一昨年は投資詐欺が主流というように、犯人側も詐欺と察知されないように主な手口は変えるようである。

先ほどお母様の話をされたが、このような電話は数十年前からある手口であり、忘れた頃に再度使用されるケースもある。

【委員】 高齢者の被害が多いため、注意喚起を呼び掛けるチラシを配布していただいているが、被害に遭われる方は今もおられることから、他の対策を検討されているのか。

【警察】 現在実施している方策として、高齢者の被害を防ぐため西京区役所の健康長寿推進課と連携し、同課にリアルタイムで現在起こっている特殊詐欺の被害や予兆電話の内容等をメール送信し、管内の高齢者への注意喚起を図っている。

【委員】 以前はオレオレ詐欺の手口に気を付ければ被害に遭わないと思っていたが、最近ではコンビニエンスストアへ行ってカードを買わせるなどの手口もあると知り、今度はどのような手口を使ってくるのかと不安にも思ってしまう。

次はこのような手口を使ってくるだろうという見解はあるのか。

【警察】 現在使われている手口というのは考え抜かれた手口といえ、順繰りに使い回している傾向にある。

新しい手口と言うよりは、先ほど話に出たオレオレ詐欺のように忘れた頃に再度この手口が利用されることは考えられる。

【委員】 架空請求の電話に関しては、特に高齢の方はかかってきた電話には折り返し電話をしなければ失礼との感覚があるのかと思う。

当社にかかってきた電話に関しては、未把握の電話番号であれば民間のサイトで検索し不審な電話との情報があればかけ直さない等の注意を払っており、もし、このような電話番号に対し警察関連の検索サイトがあれば教えていただきたい。

会 議
内 容

性犯罪関連に関しては、桂駅、河原町駅を管轄している立場から言わせてもらおうと、痴漢、盗撮の申告を受けて警察に通報する件数は年々増加している。

痴漢は電車内、盗撮は電車内だけでなくエスカレーターや階段で発生している傾向がある。我々も被害を防ぐためポスターや放送等で注意喚起を呼び掛けている。

痴漢撲滅等を訴えるポスターに関してだが、男性目線で言えばこれくらいのデザインでないと注意喚起にならないと思うが、女性社員に聞くと怖い印象を受けるとの回答があり、ポスターのデザインをとっても痴漢撲滅は困難だという印象を持っている。

【委員】私には独居高齢者の母親がいるが、基本的にこのようなオレオレ詐欺のような電話がかかってきた場合、何も聞かずに切った方が良いのか、それとも一通り聞いて相談するように促した方が良いのか、どちらが適切なのか。

【警察】相手の話を聞く必要はない。だますための電話であるため、切っていただくよう助言していただければ良い。

【委員】近所の高齢の御夫婦から聞いた話だが、息子さんをかたり、「金がある。」という電話がかかってきてお金をだまし取られたとのことであった。

息子さんは大阪の会社で役職についているらしく、何とかしてやりたいという気持ちや、家族構成を知っているような語り口をされた上、次の土曜日に帰った際には「昼間にカレーを食べたいな。」など息子さんを装う電話をされ、実際には「途中まで来たが用事ができたので別の者を行かせる。」という電話が入り、他人が来たそうである。

銀行に行った際も、「絶対にだまされていない。」と行員の説得に応じず、お金を引き出してしまったとのことだが、このような巧妙な詐欺の手口には驚かされるとともに、怖いなども感じた。

【委員】私が契約しているドコモのメールには警察からの詐欺や不審者の情報等は多々入ってくるが、やはりこのような情報を数多く発信していただき注意喚起してもらうことで被害を防げるのだと思う。

【委員】私を含め高齢者は家にいることが多いので、「リサイクルできるものはありませんか。」とか、「インターネットの環境はいかがですか。」などと言って訪問してくる者もおり、先日も法務省の者と名乗る人が訪問してきたが、即座に判断できないケースが多い。

携帯電話にも見覚えのない14桁の電話番号の着信があり、自分で判断できなかったので応答せず交番に相談に行ったら、国外からかかってきているとのことで、なぜそのような電話がかかってくるか全く分

会 議
内 容

からない。

高齢者の詐欺被害を防ぐためには、家族の方が話を聞いてあげることが重要だと思う。

【委員】私は現在高齢者宅を訪問する活動をしているが、詐欺は注意されているが、訪問販売については購入されていることが多いと感じる。

膝が痛いので効用があるサプリメントなどを高額で購入させられたというケースも聞いた。

被害ではないかもしれないがこういうトラブルも防ぐ必要があると感じている。

性犯罪に関しては、私も大学生の孫がいるので夜遅く帰ってくる時には必ず迎えに行くようにはしているが、行けない時もあるので明るいところを通ったり、不審な人物を見掛けたらそのような場所を通らないよう注意をしている。

制服を着た警察官の方がパトロールをしていただけると、より安心なので、よろしくお願ひしたい。

【委員】私は会社を経営しており商品をインターネットで販売している。

以前当社のサイトと同じようなサイトが出回り、お金を振り込んだが商品が届かないという電話が何件か入ったことがある。

このようなサイトは今でもあるのか。

【警察】昨年警察本部でサイバー犯罪捜査を担当していたが、同じような事例はたくさんある。

真偽を見分ける方法とすれば、値段が異様に安すぎないか、以前であれば日本語表記が少しおかしいという見極め方もあったが、現在はきれいな日本語で表記されているので、見極めが難しくなっている。

その他、URLを検索していただき、このサイトは危ないという情報があれば気を付けていただくという対策が必要だと考えている。

怪しいサイトに関して情報提供していただければ、警察が方策をとれる可能性もあるため、是非情報をあげていただきたい。

【委員】皆さんのお話を聞かせてもらい、詐欺の犯人も色々な情報を持ち寄ってあらゆる手段を講じていると思うとすごく恐ろしい。

訪問販売の話も出たが、私の他府県の友人が買取業者とのトラブルに巻き込まれた話を聞いた。

最初は洋服や靴が不要となり買取を依頼したが、その後、「貴金属はありませんか。」と言われ、その口吻に恐怖を感じたとのことであった。

インターネットがらみのトラブルを防止する上でも、対応できるようなシステムを構築する必要があると感じている。

【警察】 ネット犯罪に関しては当署でも捜査を行っているところである。

ただし、サイトを立ち上げているところが中国であったり、中国から操作をしているという状況があり、日本の法律を適用して捕まえに行くということがかなり困難な状況にある。

捜査が長期化しても犯人は捕まえるが、皆さんには犯罪に遭わないように注意していただく必要がある。例えば、70%オフという表記があれば怪しいと警戒していただき、10%オフなど妥当な値段が提示されているサイトで買い物をする等、ネットユーザーの方にちょっと気を付けていただくことが一番良いのではないかと感じている。

本日のテーマの1点目の特殊詐欺についてであるが、話に出ていたように色々な手口があり、年代ごとに傾向が分かれている。

警察ではまず広報啓発し、色々な手口が発生しているということをお知らせしなければ備えていただけないと考えている。高齢者の方が被害に遭うケースがほとんどであるため、防犯メールの発信のほか、行政で高齢者の方と関わる部署との連携を強化するとともに、狙われているのはお金なので、お金を管理している銀行等の金融機関や、プリペイドカード等を販売しているコンビニエンスストア等とタグを組ませていただいている。例えば還付金詐欺が発生しているという情報提供や、色々な手口を知っていただき、警戒をしていただくようにしている。

年金支給日に金融機関へ現金を引き出しに来られる高齢者の方もおられるので、当日に特化して金融機関に対する警戒を強化する等の活動をさせていただいている。

委員から未然防止について効果的な方法はないのかという問題提起があったが、対象が高齢者であるので、やはり地道な広報啓発に尽きるのかと感じている。100人おられると100人全員が特殊詐欺が多く発生しているということは御存じだが、いざ自分に電話が入ると警戒のスイッチが切れてしまい被害に遭ってしまう。

犯人側はマニュアルどおりに話をしてくるので、そこにひっかかって被害に遭ってしまう。犯人からの電話はほとんどが固定電話に入ってくるので、西京区ともタグを組ませていただき防犯機能の付いた電話を購入する際の補助金制度を設けていただいたり、警察からも電話機そのものを貸し出すような対策をとらせていただいている。

犯人側は名簿に基づいて一斉に電話をかけてくる。

その結果一定の地域に集中して電話がかかってくる傾向がある。

例えば西京区で電話がかかってくると次は右京区といったように、電話番号が近いところに連続してかかってくる傾向もみられる。

会 議
内 容

したがって防犯メールのようにいち早く情報を提供するということが重要であると警察では考えている。

2点目の性犯罪についてであるが、発生場所で言うと、電車やバスの中が多いことから、交通機関や行政と連携した被害防止対策に努めている。警察としてもこのような犯罪はどこで発生するか分からないので、制服の警察官の姿を見せる活動を実施するとともに、情報提供をいただいた場合は、犯行が発生すると予測される場所に潜んで検挙するという対策も行っている。

また、被害者の特徴からみると圧倒的に女性の学生さんが多いので、大学、高校、中学校等と情報共有するなど連携し被害防止のための啓発活動に取り組んでいる。

せっかくの機会なので昨年の犯罪情勢等について申し上げる。

令和5年中の西京区内の刑法犯認知件数は414件で、前年から86件増加している。

ただし、件数のほとんどが無施錠の自転車を窃取されたという被害であり、発生場所は駅周辺、集合住宅の駐輪場、自宅の駐輪場や軒先など多岐にわたるがほぼ無施錠のものが窃取されている。

交通事故に関しては、令和5年中の人身事故は159件で昨年と比較すると120件減少している。

負傷された方も186人で前年から131人減っている。

これは皆さんを含めた地域の皆様が交通マナーを守っていただいているからだと認識している。

今後も犯罪抑止、交通事故防止対策を推進してまいりたい。

4 事務連絡

令和6年度第1回西京警察署協議会は、皆さんと日程調整の上、令和6年6月に開催する予定である。

以上

第4回京都府西京警察署協議会の開催状況

